

	室蘭工業大学 工学分野
学部等の教育研究 組織の名称	工学部（第1年次:560 第3年次:40） 工学部【夜間】（第1年次:40） 大学院工学研究科（M:198 D:24）
沿 革	昭和14（1939）年 室蘭高等工業学校創立 昭和24（1949）年 新制室蘭工業大学工学部設置 昭和40（1965）年 大学院工学研究科修士課程設置 平成2（1990）年 大学院工学研究科修士課程を廃止し、工学研究科博士 前期課程・後期課程に再編
設置目的等	<p>室蘭工業大学工学部・工学研究科の母体の一つである室蘭高等工業学校は、戦時下工業教育機関拡充の方針に基づき、昭和14年に設置された。</p> <p>新制国立大学の発足時には、室蘭高等工業学校は、室蘭工業大学工学部として承継された。</p> <p>昭和24年に、豊かな教養と高い専門知識を具えた有為の科学技術者を養成するとともに、学術の研究を盛んにして本邦国土計画上の重要施策たる北海道総合開発計画の一環をなす鉱工業並びに土木事業の振興発展に寄与し、進んでわが国の科学文化の創造と、産業経済の興隆に貢献することを目的に、工学部が設置された。</p> <p>昭和40年に、研究開発・技術革新に対処しうる高度な技術者、研究者の養成を図る必要があり、北海道のとりわけ重化学工業をベースとした新産業都市の中核である室蘭市にある本学が地域社会の要請を受け、工学研究科修士課程が設置された。</p> <p>平成2年に、社会の各分野から、科学の進歩に見合う人材の育成を目指す大学院教育の要請を受け、豊かな創造性と活力ある高度技術者及び研究者を育成することを目的に区分制博士課程（大学院博士後期課程）の設置と、修士課程（大学院博士前期課程）並びに工学部の改組再編を行った。</p> <p>平成21年に、機動的・弾力的で柔軟な教育体制を構築することを目的に工学部及び工学研究科の改組再編を行い、工学部が4系学科と夜間主コース2系学科、工学研究科が博士前期課程7専攻、博士後期課程5専攻となり、現在に至っている。</p>

強みや特色、
社会的な役割

室蘭工業大学においては、「創造的な科学技術で夢をかたちに」を基本理念とし、「総合的な理工学教育を行い、地域社会更には国際社会における知の拠点として豊かな社会の発展に貢献する」ことを目指しており、以下の強みや特色、社会的な役割を有している。

- 「未来をひらく創造的な科学技術者を育成する」との方針の下、開学以来多くの工学系人材を輩出してきた実績を生かし、専門知識、課題解決能力、主体性・倫理観などを身につけた高度な技術者等の育成の役割を充実するとともに、多様な社会ニーズを踏まえグローバル化が進む実社会で活躍できる「イノベーション博士人材」育成の役割を果たす。
- 総合的価値判断能力や深い見識を身につけることを目指した教養教育などの特色ある教育を進めてきた実績や国際的通用性のある認定プログラムを積極的に推進してきた実績を生かし、グローバルに活躍できる工学系人材を育成する学部・大学院教育を目指して不断の改善・充実を図るとともに学士課程と大学院前期課程を通じた教育を重視する。
- 産業界・独立行政法人並びに北海道や室蘭市の期待を受けて進められている航空宇宙機システム及び環境関係分野をはじめ、ものづくりとしての高度で先端的な加工技術に関わる工学の諸分野の研究を推進する。航空宇宙分野では、基盤的研究成果を航空宇宙産業など関連産業に還元できるよう連携を重視し、北海道における航空宇宙工学の拠点形成を目指す。環境分野では、エネルギー、材料、資源活用の領域で実績を生かして社会のニーズに応える。
- 産学官連携によるサプライサイクルの取組やイノベーション推進に資するネットワークの構築など、地域における知の拠点機能としての実績を生かし、室蘭市をはじめとする自治体との多方面にわたる連携を進展させ、地域からの要求に対して積極的に協力しつつ、地域の活性化を促進する。
- 建築設備の防食技術講習、情報処理技術リーダー育成研修、教員免許状更新講習などの実績を生かし、地域企業や行政機関等の生産性やサービスの向上、新規事業展開のための準備教育や再教育、研修など、社会人の学び直し教育を推進する。

	<p>○ スーパーサイエンスハイスクール認定校を含む高校生を招いた体験授業、ものづくり・ロボット教室などの実績を生かし、小中高校生の理科教育に貢献する。</p>
--	--